

令和6年度 札幌若葉幼稚園の自己評価について

「学校教育法施行規則」において、各学校が、自らの教育活動その他の学校運営等について、目指すべき目標を設定し、教職員が、達成状況や達成に向けた取組の適切さ等を自己評価し、その結果を公表することが義務付けられています。

本園においても教職員による自己評価を実施しましたので、その結果をまとめ下記のとおりお知らせいたします。

記

1 本年度の重点目標と達成状況

- ① 教職員一人一人が、自らの職責を自覚し、持てる力を発揮し合い、相互理解と相互信頼のうえに立って協力し、教育の質を高める。

※目標は達成できた。各教諭が担当職責を遂行するとともに、相互に刺激し合いながら教育内容の質の向上、発展につとめた。

- ② 保護者に対し適正な情報を伝えるとともに保護者のニーズ把握に努める。

※目標は達成できた。

- ・ホームページ、ハグノート（連絡アプリ）、園だより、クラスだより、および、学年別カリキュラム等でタイムリーな情報を保護者に伝えた。
- ・ハグノート（連絡アプリ）で、行事の様子などを写真等でタイムリーに保護者に通知することができた。
- ・園だより、学年別カリキュラム、および、給食だよりは、ホームページで閲覧可能です。

- ③ 園舎等の環境整備

教育環境を改善するため、経年劣化等に伴う園舎などの修繕を実施する。

※目標は達成できた。次の環境整備工事等を実施しました。

- ・グラウンド 破損看板 撤去
- ・駐車場・園庭 アスファルト 補修
- ・大型バステールランプ 修繕
- ・大型・中型バス 冬タイヤ 取替
- ・園舎正面玄関の看板 認定こども園用に修繕
- ・電子ピアノ 修繕
- ・ワイヤレスマイク 修繕

④ 車両・教材・教具等の環境整備

教育内容の向上をはかるため、車両・教材・教具の新規導入および経年劣化による更改を実施する。

※目標は達成できた。次のとおり教材・教具の新規導入、更改を行った。

新規導入

- ・コードレススティック型掃除機 1台
- ・共有ディスク 1台
- ・絵本 152冊、紙芝居 10組

経年劣化による更改

- ・職員用ノートパソコン 中古6台
- ・小型バス 1台
- ・園児椅子 年中・年長用 40脚
- ・電子ピアノ (きく組・ちゅうりっぷ組) 2台
- ・ワンタッチプール 1台
- ・大人用 パイプ椅子 30脚
- ・43型液晶TV 1台

2 評価項目の達成・取組状況

A：達成できた B：概ね達成できた C：達成できなかった

評価項目	達成状況	反省・課題等
園の教育理念・ 教育目標の理解	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めに理念や目標、幼児の姿について全体で確認し理解を深めて保育に臨むことができた。 ・情報やイメージの共有ができており、具体的な幼児の姿を考え保育内容を考えている。
指導計画の作成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子に合わせ臨機応変に活動をかえている。 ・保育者同士で相談し合いながら日案、週案を決めている。 ・週案や日案を立ててはいるが、子どもの様子を見ながら活動の内容を減らしたり順番を入替えたりしている。
環境の構成	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除を丁寧に行い、清潔な環境となるよう意識している。 ・子どもが自由な発想で制作できる様にし、素材や環境を整えている。 ・年数回の合同保育によって異年齢との密な関りを持つことができ、良い刺激を与えあうことができた。
幼児理解	B	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の話をよく聞き、思いを受け止めるようにしている。また、状況に応じて保護者にも連絡を取り、様子を説明している。 ・個々の育ちをしっかりと見極め、必要な援助や配慮が必要だと感じた。 ・時間が足りず、じっくりと話が聞けなかったり、逆に話を聞くことで全体を見られない時がある。
指導とかかわり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもそれぞれの個性を認め、その子にあったかかわりをしている。 ・子どもたちの成長過程の身近な存在となるため、言葉づかいは特に気をつけている。 ・園児同士のトラブルがあった際は、互いの話をよく聞くようにし、良い解決法を提案するようにしている。
保育者同士の協力・ 連携	B	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な園児の情報は、会議で全職員が共有し、園全体で見守っていけるようにしている。 ・活動の進め方や子どもとの関わり方に悩んだ際は、同僚や先輩の意見を聞き取り入れている。 ・保育者同士で連携をとるようにしているが、連携が取れていない保育者もいる。学年問わず意見交換や互いの保育を見れる環境があると良いと思う。
保育の楽しみ・喜び	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達と沢山の経験や感情を共有することができた。 ・行事を通じて子どもが成長したと感じる時や、子どもと共に楽しい時間を過ごしている時に幸せを感じている。 ・子どもの成長を身近で見られやりがいを感じる。
情報の発信と受信	A	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだより等のほか、ハグノートのアプリを通じて定期的に園での様子を伝えている。 ・できるだけ保護者と直接話し、子どもの様子を伝えるようにしている。

以上